

# 基礎研 レポート

## 「ぴえん」とは何だったのか

生活研究部 研究員 廣瀬 涼  
(03)3512-1776 hirose@nli-research.co.jp

### 1—はじめに

『三省堂 辞書を編む人が選ぶ「今年の新語 2020」』選考発表会が11月30日、都内で行われ、大賞には「ぴえん」が選出された。「ぴえん」とは2018年から使われるようになった擬態語で、泣いている様子を現す若者の言葉の一つである。2019年にはAMFの「JC・JK 流行語大賞 2019」コトバ部門の1位、TWIN PLANETの「2019年ギャル流行語大賞」の2位、2020年にはInstagramメディア「Petrel (ペトレル)」の「2020年上半期インスタ流行語大賞」流行語部門の1位に選ばれるなど、若者を中心に広く使われている。筆者は[過去のレポート](#)<sup>1</sup>で若者言葉は、「語感の良さ（ノリの良さ）」と「曖昧さ」が関係すると述べたが、「ぴえん」は当にその典型的な例であり、若者は「ぴえん」という音の響きを楽しむ一方で、その一言が持つ言葉の意味をその都度汲み取っているのである。本レポートでは、「ぴえん」が流行した要因を、筆者の専門である消費文化の側面から考察する。

### 2—泣きの擬態語(オノマトペ)

泣いている様子を現す擬態語は「しくしく」や「ぼろぼろ」「ほろっと」など数多く存在する。泣きわめく表現としては「えんえん」や「わんわん」などは古くから使われている。マンガのように絵で感情の起伏を表現するコンテンツの中では、「ぴえん」など泣きわめいている様子を如何にして文字で表すか創意工夫がされてきた。実際に現実の赤ちゃんがそのような音を発しているかは別として、赤ちゃんが泣く擬態語として古くから「びいびい」という言葉が存在していたという。ドラマで「赤ん坊のようにびいびい喚くな」といった旨のセリフを誰しもが聞いたことはあるだろう。“び”という音を用いて泣く様子を現すことで、赤ちゃんや幼児性を表現することができるという土壌は少なからずマンガやアニメ、ドラマといったコンテンツを嗜好する人々の中にあっただといえるだろう。例えば2004年から2009年の間に週刊少年ジャンプで連載していた『D.Gray-man』においても「ぴえええええ」という表現が用いられている。

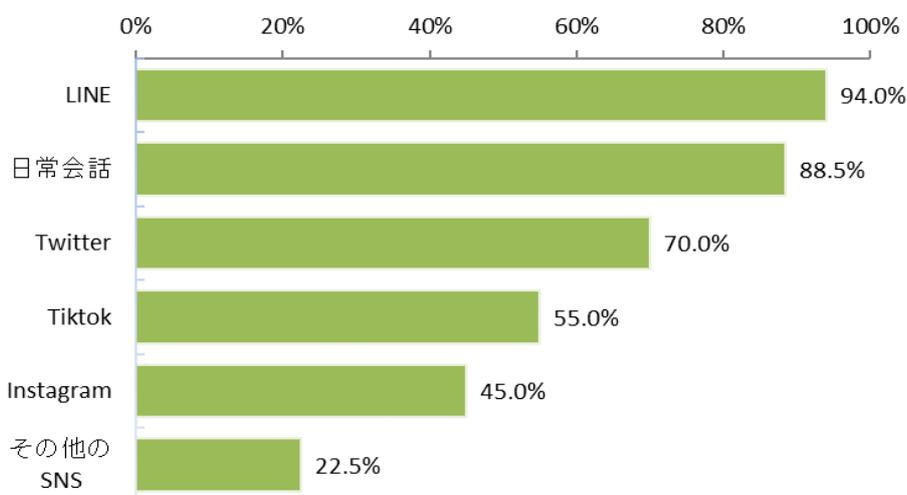
本レポートで扱う「ぴえん」もこれらの派生であり、「ぴえん」という擬態語に“び”という音を宛てがい、「ぴえん」と表記（発声）することで、とりわけ幼さを表現してきたことが起源であると

筆者は考える。しかし、現代の「ぴえん」のような多様性を含んだ言葉ではなく、あくまでも泣きわめいているさまを表すものであった。

### 3—「ぴえん顔」の登場と若者言葉としての「ぴえん」

前述した通り「2020年上半期インスタ流行語大賞」流行語部門の1位に選ばれるなど、昨今の「ぴえん」の流行はSNSを中心に広がりを見せた。LINEリサーチによると10代の34.4%が「ぴえん」を日常で使っていた。筆者が10代、20代を対象に行った「ぴえんに関する調査」で、どこで「ぴえん」を使用するか聞いてみたところ、LINEが94%と最も高く、日常会話(88.5%)<sup>2</sup>、Twitter(70%)と続くなど、主に文字媒体でのコミュニケーションで使用されている(図1)。

図1 どこで「ぴえん」を使用しますか (複数回答, N:200)



出所：筆者作成

若者言葉としての「ぴえん」が使用されるようになった背景として、絵文字環境の標準化が挙げられると筆者は考える。2018年、符号化文字集合や文字符号化方式などを定めた文字コードの業界規格であるUnicodeに「Pleading Face」が追加された。大きな瞳に下がった眉毛をした何かを訴えかけようとしている絵文字は、Androidが8月に9.0Pie、Appleが10月にiOS12をそれぞれリリースするタイミングで追加されると、そのデザイン性から若者を中心に使用されることとなる(図2)。

図2 Pleading Faceの一例



出所：筆者作成



最初は「ぴえん」という言葉とともに使われることで、造語である「ぴえん」と言う感情を補足する意味合いで使用されていた「ぴえん顔」であるが、そのデザイン性から絵文字そのものも人気を博すこととなる。その結果、「ぴえん顔」そのものが一種の独立したアイコンとしてアパレルや小物などにデザインされ、文字通り消費されていったのだ。もちろんこれは SNS 上でのテキストとしての「ぴえん」及び「ぴえん顔」の人氣がきっかけであるものの、「ぴえん」という文化が一種の記号となり、現実社会における物理的な消費対象となったことを意味する。

しかし、このような絵文字に固有名詞がつけられ、独立したデザインとして消費された事例は過去にも存在する。匿名ネット掲示板「2ちゃんねる」を中心にコミュニケーションの一環として AA (アスキーアート) が楽しまれていたころは、特定の AA に名前が付けられ、一種のネットスラングとしてネットユーザー同士で共有されていた。2005 年のアキバブームの際は映画『電車男』が 2 ちゃんねるの掲示板を基に作られたこともあり、当時は AA や顔文字がメディアで取り上げられることも多々あった。そのため、AA や絵文字をデザインした土産物やグッズが販売されるなど、一種のオタク文化として消費対象となっていた。

図4 顔文字に特定の名前がつけられた例

(´・ω・`)	シヨボーン
——(°▽°)——	キター——
(`・ω・´)	シャキーン

出所：筆者作成

今回の Pleading Face も「ぴえん顔」という固有名詞が付与されることで、一種の独立した記号として消費対象となっていたのである。

## 5——「ぴえんのうた」と「ちゃちゃまる」

「ぴえん」という文化が消費対象として成立した要因は、もちろん SNS での汎用性の高さやデザイン性、話題性もあるが、「ぴえん」を使用したコンテンツのヒットも要因にあると筆者は考えている。その一例として「ぴえんのうた」と「ちゃちゃまる」を例に挙げよう。

2020 年 3 月 9 日にリリースされた針スピ子の楽曲である『「ぴえん」のうた』は、「ぴえん顔」から逃げる PC ホラーゲーム「PIEN」で使用されたことをきっかけに注目を集め、YouTube での再生回数は 11 月 30 日現在で 600 万回を超えた。また、楽曲の一部が著作権フリーであったため TikTok や SNS で多くのユーザーから使用された。キャッチーなメロディーとともに繰り返される「ぴえん」という語は、語感やリズムと相まって若者のハートをつかんだ。これらは、「ぴえん」というデザインや言葉が流行っていると若者に実感させる（現象として流行っていると認識させる）には十分なコンテンツであったといえるだろう。

また、今年ヒットしたニンテンドースイッチソフト『あつまれ どうぶつの森』のヒットも「ぴえん顔」が「かわいい」というアイコンとして定着した要因であると筆者は考えている。上半期ソフトラ

ンキング 1 位であった同タイトルは、ニンテンドースイッチ向けタイトル歴代最高の販売本数を更新し、10 年ぶりにパッケージ版単独で累計 500 万本を達成した。また、任天堂が 11 月 5 日に発表した「2021 年 3 月期 第 2 四半期 決算短信」によると、全世界販売本数が、2,604 万本を達成したという。登場する住民は様々なキャラクターがモチーフとなっているが、その中でも「ちゃちゃまる」と呼ばれる羊のキャラクターが大人気となった。ちゃちゃまるは、「ぴえん顔」を彷彿させる顔という特徴がある。ゲームソフトの発売日が「ぴえん顔」が一般にも定着し始めた 2020 年初頭であったということもあり、発売直後に人気キャラクターとして話題となった。『あつまれどうぶつの森』では自身の島にキャラクターがランダムに移住をするのだが、自身のお気に入りのキャラクターが登場するまでは、いらない住民を追い出し続ける「住民厳選」という行為が横行していた。それらは、もちろん任天堂の規約違反ではあるが、時間や労力を省くために、プレイヤー同士が SNS を介してキャラクターの売買を行うという事態が発生していた。中でもちゃちゃまるが自身の島に引っ越してくるといふ権利は、現実の通貨で 5,000 円で取引されるほど人気の高いキャラクターであった。

発売時期が政府による緊急事態宣言による外出自粛要請の時期と重なった時期ということもあり、ゲームの需要も高まっていた。加えてステイホーム期間中に「ゲーム実況」と呼ばれるゲームのプレイ動画の配信の人気や、プレイ中の動画を誰でも簡単に保存、投稿ができるインターフェイスが整っていたこともあり、SNS は「あつ森」関連の動画で溢れることとなった。そのような数ある動画の中で、「ぴえん顔」をしているちゃちゃまるの仕草がかわいく見えるということで、一種のネタキャラとしてあつ森プレイヤーはもちろん、ゲームをしていない SNS ユーザーの眼にも触れる機会も多くなった。その結果、ゲームをプレイしていない層からも認知されるようになったのである。このように、「ぴえん顔」のキャラクターが SNS という身近な情報探索ツールで連日のように人々の目に触れるようになったことも、「ぴえん顔」が可愛いモノとして定着し、消費されるようになった要因の一つであると筆者は考える。

## 6——「ぴえん」を使う理由

前述した通り、「ぴえん」は嬉しいことや悲しいこと問わず、泣き出してしまう寸前の感情を表している。また、Pleading Face の視覚的な情報も合わさり、かわいさやあざとさを表す言葉として使われるようになった。以下は SNS や LINE 等で「ぴえん」が使われている例である。

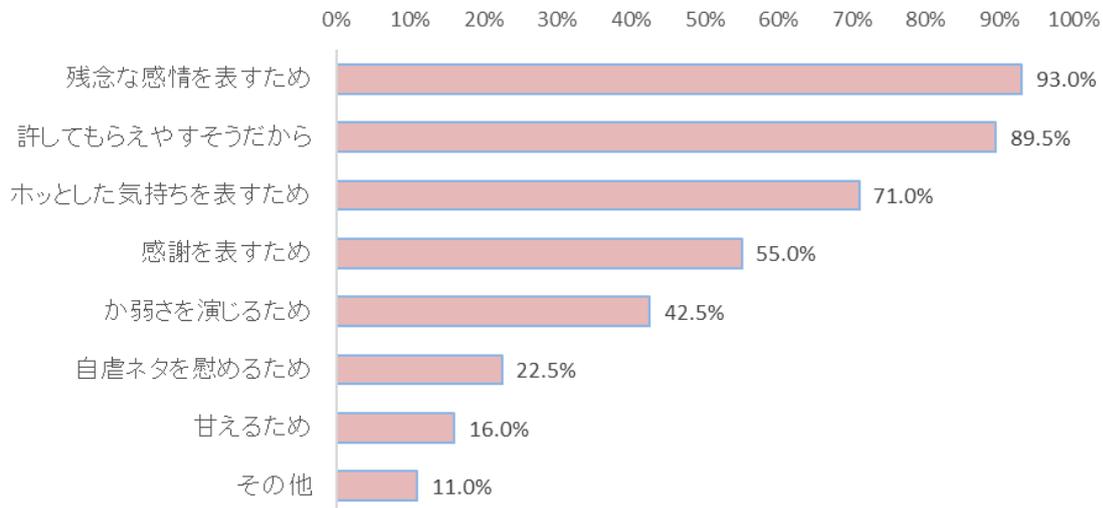
- |                               |
|-------------------------------|
| 例 1. 好きなアーティストのチケット取れなかった。ぴえん |
| 例 2. スマホの充電がなくなりそう。ぴえん        |
| 例 3. 彼氏と別れた。ぴえん。              |
| 例 4. 財布落としたの自業自得って言われた。ぴえん。   |
| 例 5. 最高の出来事が起こった。本当にいいのか。ぴえん  |
| 例 6. ○○ちゃんが可愛すぎ。ぴえん           |

例 1～4 にかけては、悲しいことが起きた際に使われているのがわかるが、悲しさの度合いや悲し

みが何に帰しているのか異なることがわかる。一方で例 5 のように喜びを表す時や、例 6 のように尊さを表す時にも用いられている。

筆者は前述した調査で、どのような意図で「ぴえん」及び「ぴえん顔」が使用されているか聞いている。

図5 どのような意図で「ぴえん」及び「ぴえん顔の絵文字」を使うのか（複数回答,N:200）



出所：筆者作成

「残念な感情を表すため」が 93.0%と最も高い。また「許してもらえやすそうだから」も概ね 9割と高い。回答者に理由を聞くと「ぴえんという顔文字で目がうるうるするほど反省している、と伝えようとしている」や「ぴえんと言つぶやいて、ぐうの音も出ないほど反省している状態を表そうとしている」といった旨の回答が多く、「か弱さを演じるため」(42.5%)や「甘えるため」(16.0%)とも類似する点があると思われる。前述した通り、“び”という音を用いて泣く様子を表現することで、赤ちゃんや幼児性を表現することができるという土壌がマンガやアニメなどを嗜好する人々の中にあつた。「ぴえん」という言葉は「ばぶー」や「おぎゃー」と同様に幼児言葉としての特性をもち、使用することで、か弱さやコミュニケーション相手に対して甘えたいという感情をほのめかす作用があるようにも思われる。

また、「ホッとした気持ちを表すため」も 7割を超えて高い。例えば、「〇〇ちゃんに宿題を見せてもらった。ぴえん」という文から考えると、宿題を見せてもらった感謝と宿題が終わった安堵感を垣間見ることができる。「ぴえん」の一言がため息のような役割を果たしていることがわかる。このように「ぴえん」という言葉は **Pleading Face** から読み取ることができる感情を表現しており、多様な意味を含む言葉として成立している。「ぴえん」という言葉が支持されている理由には、このような「ぴえん」という言葉のもつ曖昧さも背景にあるのかもしれない。

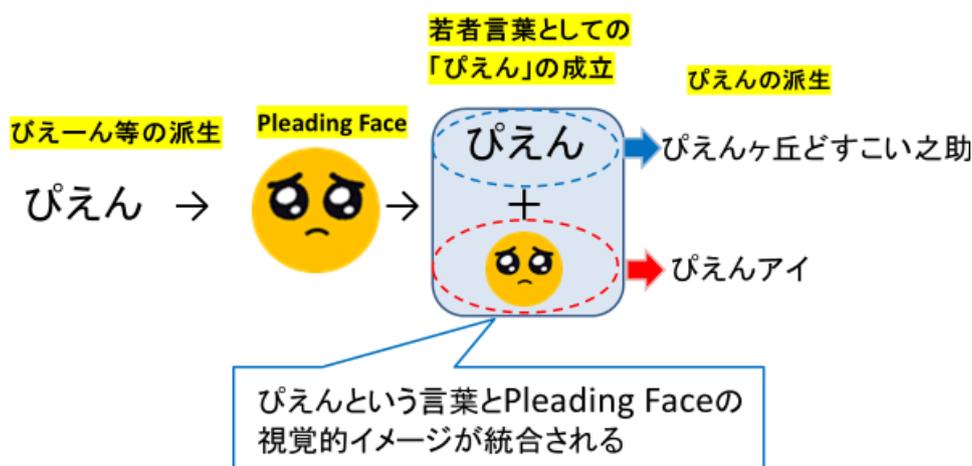
## 7—ぴえんの今

最近では、「ぴえん」という言葉と **Pleading Face** が相互補完によって、独立して「ぴえん」という

状態を表すことができるようになったことで、それぞれが独自の文化として変化し始めた。「ぴえん」という言葉自体は、派生語が多く生まれ、例えば「ぴえん超えてパオン」は、ぴえんよりも感極まった時に使われる言葉で「2020年上半期ティーンが選ぶトレンドランキング」のコトバ篇の6位にランクインしている。また、AMFの「JC・JK流行語大賞2020」のコトバ部門の3位にはぴえん最上級表現として「ぴえんヶ丘どすこい之助」がランキングしている。これはTikTokで若者から支持されている「けんちよす（高橋憲太）」によって作られた造語である。前述した通り、若者言葉はノリや語感が重視されるわけだが、TikTokでメロディーに合わせて語感の良い造語が歌われたり、紹介されることも多く、ノリや言葉の響きが良いとそのコンテンツがシェアされるため、物理的に流行語が共有されているのである。以前は人伝え、メディア伝えで伝播していった流行語であるが、コンテンツがシェアされることで直接伝わっていくという点も昨今の若者文化の面白い点であると筆者は考える。

「ぴえん顔」として認知されたPleading Faceも派生し新しい文化を生み出している。例えば「ぴえんアイ」である。NMB48の吉田朱里が実践し話題となったアイメイク方法で、「ぴえん顔」のような、ウルウルとした瞳を表現することができるらしい。このように言葉と絵文字がお互いの意味と視覚的情報を補完し合ったことで、独立した文化として成立しているのである。

図6 若者文化としての「ぴえん」の構造



出所：筆者作成

## 8—おわりに

本レポートで扱った「ぴえん」に限らず、若者言葉をそれ以前の世代が分析や考察することは、粹なことではない。若者が生み出したものに大人が必死に食いつこうとしても“さむい”行為になってしまうからである。しかし、若者ではない世代からすると、彼らの文化は謎に満ちており、なぜそれが流行っているのか、理由の追求をしたくなるものである。もちろん筆者も若者の部類に入るわけではなく、また「ぴえん」文化の全てを理解しているわけではないので、本レポートの全てが受容されるものではないと認識はしているが、当レポートが若者文化を理解するうえでの一つの解釈として捉えていただけたら幸いである。

---

<sup>1</sup> <https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=64774?site=nli>

<sup>2</sup> ぶりっこをしていると捉えられてしまうため、ネタとして使われることが多いようである。

<sup>3</sup> 可愛らしく泣いている様子を表す顔文字「(ノω≡。)ピエーン」が語源という説もあるが明確なソースは存在しない。